

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	<理念の共有と実践> しっかりした理念がなく、職員が同じ方向に進めていない	・ご利用者様の方、ご家族様の方、地域の方、センターの役割をキーワードにした、簡潔な理念を作る	・全体会議で職員への呼びかけをしていく	3ヶ月
2	6	<運営推進会議を活かした取り組み> ・ご家族様の出席率の低下 ・「何かあったらこの施設をお使いください」と地域のアプローチしていく。	・介護への関心を持って頂く。 ・ご利用者様の参加をお願いしていく	・定期的に認知症の研修を行う。 ・私たちはこんなサービスをしていますと報告する。介護業界のトピックス(虐待・災害・インフルなど)私たちの取り組みの報告。AEDの講習会への参加の呼びかけ	6ヶ月
3	35	<災害対策> ・災害時近隣の方が駆けつけて下さる確約がない。災害弱者を抱えている施設は、備蓄は5日間は必要。災害訓練と災害訓練を分ける	・地域の方に駆けつけて下さる様呼びかける。・独居老人、妊婦等の一時避難場所としての呼びかけ	・運営推進会議での地域の方に災害時の協力を呼びかける。 ・5日分の食材の備蓄とリストを倉庫の扉に貼付。	6ヶ月
4	4	<身体拘束しないケアの実践> ・現在身体拘束はしていないが、階段からの転落防止の為、2階の入り口は施錠をさせて頂いている。	・気兼ねなく2階と1を行き来できる。	・施錠はしているが、職員が付添い自由に1階に行ける環境である事を運営推進会議で報告していく ・身体拘束廃止委員会開催後の内容の報告を随時行う。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。